



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.9

2008.9.3 (No.2516)

第2560地区ガバナー／馬場 信彦
 会 長／中村 和彦
 会長エレクト／菊池 渉 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／樺山 仁 (クラブ奉仕B)
 幹 事／石月 良典
 S A A／明田川賢一
 会 計／杉山 幸英

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押ししてください)

■本日の出席会員数:59名中42名
 ■先々週出席率:83.93%

【ゲスト】

・第4分区アシスタントガバナー
 古井辰禧 様

【ヴィジター】

三條北RCより
 ・山上茂夫さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



ホトトギス

会 長 挨拶

中村和彦 会長



関東大震災から85年

知られざる「複合災害」

日本の災害史上最悪の惨事となった関東大震災が起きたのは、1923(大正12)年9月1日。今から85年前のことだ。マグニチュード(M)7.9の地震と台風による強風が重なり、津波や土石流でも甚大な被害を出した。だが、火災被害があまりにも悲惨だったため、「複合災害」としての実像はあまり知られていない。

「防災の日」にあたって、関東大震災の複合的な被害実態から、現代の防災につながる教訓を探ってみた。

土砂災害による被害が大きかった今年6月の岩手・宮城内陸地震。

関東大震災では、箱根、丹沢などの山間地で多くの土石流や山崩れが発生した。

土砂災害による死者は約700人と推定される。

最も大規模な土砂災害は神奈川県片浦村(現小田原市)を襲った山津波で、根府川の集落では約400人が命を落とした。

「火山地帯で地震が起きると、土石流の恐れがある。そのことを知っていれば、岩手・宮城内陸地震で土石流に流された駒ノ湯温泉の人たちは、避難できたかも知れない」

《台風が被害拡大》

関東大震災の死者・行方不明は約10万5,000人。

火災による犠牲者が圧倒的に多く、9万1,000人以上と推定される。

地震発生が昼食時の正午前だったことに加え、日本海に中心があった台風の影響で秒速10メートルを超える強風が吹き、火災被害を拡大させた。

特に悲惨だったのは多くの被災者が避難した東京・本所区（現墨田区）の旧陸軍被服廠。突然起こった火災旋風により、4万人も避難者が命を落とした。

火災被害があまりにおおきいため見落とされがちだが、揺れによる家屋の倒壊、津波、土砂災害をもたらした人的被害も、小さかったわけではない。

激しい揺れで家屋の下敷きになった犠牲者は約1万1,000人。

1995（平成7）年の阪神大震災（兵庫県南部地震）による直接的な犠牲者の2倍にあたる。

約300人と推定される津波による犠牲者数は、1983（昭和58）年の日本海中部地震、1993（平成5）年の北海道南西沖地震を上回る。

また、土砂災害で700人も犠牲者を出した地震は、明治以降では関東大震災の他に例を見ない。

《二面性あわせ持つ》

地震と台風が重なり、それに伴うさまざまな被害が発生した関東大震災は、どの被害をとっても日本の地震歴史で最大級かそれに近い規模の複合災害となった。

被災地域は、首都圏の人口密集地から海岸沿いや山間地にも及んだ。

プレート（岩板）境界で起こる海溝型地震でありながら、震源断層は陸域にも広がっている。海溝型地震と内陸直下地震の両方の特性をあわせ持った特異な地震だが、この二面性が関東大震災に防災上の普遍性を持たせた。

この20年に起きた被害地震を例にとると、大都市を襲った阪神大震災、山間地に被害を及ぼした新潟中越地震、津波被害が大きかった北海道南西沖地震は、関東大震災の一つの側面と重なる。

30年以内の発生確率が70%とされる首都直下地震をはじめ、これから起こる地震への教訓も与えてくれるはずだ。

幹事報告

石月良典 幹事

◎三条ローターアクトクラブより「秋のクリーン作戦 in トリムの森」開催のご案内が届いております。

とき 9月23日（火） AM6:30～

ところ 三條機械スタジアム 第二駐車場

（スタジアムの道路を挟んだ反対側）

※雨天決行

◎9月6日（土）は第4分区I・Mです。ご出席の方はよろしくお願ひ致します。

市役所前 PM12:20 集合出発です。

ニコニコBOX

中村和彦さん

古井様、今日はありがとうございます。

福田首相辞任には驚きました。

石月良典さん

古井AG、本日はありがとうございます。

渡辺勝利さん

ヨネックスゴルフ大会、盛会でした。

秋風を待っています。

佐野勝榮さん

8月30・31日、1泊2日で奥穂高岳～前穂高岳を縦走して来ました。日本アルプス360°一望でき、感激しました。

野崎喜一郎さん

もうすぐ夏が終わりそうです。少しさみしい感じですよ。

藤田紘一さん

残暑厳しい毎日です。皆様ご自愛ください。

アシスタントガバナー古井様を歓迎申し上げます。

五十嵐昭一さん、帰山 肇さん、西川文夫さん、若槻八十彦さん、明田川賢一さん、米山智哉さん、丸山行彦さん、石塚欣司さん、樺山 仁さん、齋藤弘文さん、会田二郎さん、山田富義さん、杉山幸英さん、松永一義さん

第4分区アシスタントガバナー古井様、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

荻根澤隆雄さん

BOXに協力。

船越正夫さん

早退させていただきます。

9月3日分 ￥24,000

今年度累計 ￥344,000

卓 話

「我が楽しき人生、古稀を迎えて」

第4分区アシスタントガバナー 古井辰禧 様



図らずも、アシスタントガバナーを仰せつかりました、古井辰禧であります。

生まれは昭和12年福岡生まれ、小学校6年生から3年間佐賀で、それ以降は東京の渋谷にあります青山学院です。青山学院は、初等部、

中等部、高等部、短大、大学と全部ありまして、のんびりとした私にとりまして、理想郷でありました。

私は非常に職業に恵まれまして、楽しい職場生活を送らせていただきました。

先ず最初の振り出しは昭和34年大学卒業後、神田の広瀬無線で家電用品の卸をやっており、入って半年位新入社員は、松下、早川等、メーカーさんに研修にやらされ、それからルートセールス生活となりました。私の受持は台東区、足立区で、わけても面白かったのは台東区、浅草から山谷にかけて（2ゴ4）が多く、電気屋さんがそういう人達を相手に商売しておられ、その人達が日銭を電気屋さんに持って行って日掛けして、1ヶ月なり2ヶ月貯まると電気製品が手に入るといふ商売がかなりやられておりました。

丁度その頃、月賦百貨店、大はマルイからその他地域地域にあった月賦百貨店の家電製品の売上がウエートを締めておりまして、そんな客先に飛び込みでルートを開発した人達が良い成績を上げました。

時代は真空管からトランジスターに変わりつつある時代でしたから、NECとかESKとか真空管、又はその関連機器などの在庫を沢山持っていたので、それをどう減らしてやるのか、それが私達の仕事みたいなこともありました。

新しい洗濯機なり、電気祭など、種々続々と出てくるものですから、面白いように営業活動ができる訳です。そんなことを10数年やっておりました。

その時代1964年、昭和39年の東京オリンピックと2008年、中国の北京オリンピックと44年の時差がありますが、比較して見る気持ちになりました。

私は昨年北京方面に出掛ける機会がありまして、その頃の日本の東京オリンピックと北京はどうなんだろうと街を歩いてみました。

1964年当時の東京の山手線の内側は、非常にきれいに整備されていましたが、山手線の外側は水洗トイレは一切ありませんでした。一杯飲屋に行くにしても、中野から外側の高円寺、吉祥寺に行って飲も

うと言うと、やめろよトイレが汚いから、と言う時代でした。

北京も東京とそう変わらないかなと頭で考えたのですが、トイレは北京の方がよほど「きれい」かなという感じを受けました。スケールは北京の方が大きいですし、スペースも広く、高速道路の工事の出来方のスピードも速かったし、日本の場合は工事のスピードも遅く、新幹線の工事についても中国の方が早いかなという感じを受けました。

私は高度成長期の先駆けとして育って来ておりまして、昭和40年に結婚して、それが縁で昭和45（1970）年に新潟県吉田に住み、燕の明道金属にお世話になりました。

昭和45（1970）年、明道金属は面白い発展期の会社で、46年から47年吉田の工業団地に4万坪の土地を買いました。燕工場は手狭と公害問題で、ステンレスの鋳鋼工場が出来ないので、吉田の工場団地の4万坪のうち1万坪にステンレスの鋳鋼工場を造りまして、昭和47（1972）年の第一次オイルショック時、あたかも田中角栄首相の列島改造、狂乱物価で、なにがなんだかわからないような時代でしたが、鋳鋼工場を2年で消去致しました。

丁度その頃川口にあった、日本精研は線材のスリッター工場でしたが、板のスリッター工場を吉田へ造ろうということで始めまして、明道だけでなく、日本ステンレスの下請けもやりまして、採算が良くて、鋳鋼の方ではステンレスの丸棒を作り始めました。それを東南アジアに撒くということで、先ず韓国、香港、マレーシア、シンガポールなどに売りました。

それから造船は、ステン丸棒をたくさん使うので、結構売れまして、面白い商いをさせてもらいました。

そうこうするうちに、刃物材のG1、G2をロール材にして売ったのですが、売れるものですから、ブラジル、中米へも売ってみるか、コロンビアの奥のコスタリカ、そこでたまたま通訳に頼んだ人が、三条の婦山メッキの親戚の方で、丁度その頃、洋食器の工場を作ったかどうかと話が出て、燕へ帰って相談したら、コスタリカは人口も少ないしスクラップ処理ができない。インドもそうですが、捨てるしかない、後処理に困る。となったのですが、本人はどうしてもやりたいと言うので、燕ではそろそろ洋食器を止める時期だったものですから、燕で廃業の中古機械を買って、3年位続け、その後も又その機械を欲しい人に売るといふ形を取られたようです。その間、技術指導で燕から半年位人が行きましたが、スプーン、フォーク、ナイフはそれぞれ別工程のものですから、言葉がスペイン語で、なかなか苦勞が

多かったですけれども、賃金が倍になるもの
ですから、本人にとってみれば楽しかったのではない
かと思います。

やはり発展途上国へ行って感じるのは、金属を使用
することは釘を造る、刃物の包丁を作るのが圧倒
的に多いのですが、鍛造品を造るのはどこでも出来
ない訳です。設費そのものに金がかかる。最近はどう
か知りませんが、ナイフ、フォークでも、せいぜいナイ
フ止まりで、韓国位でしか出来なかった時代もあり
ました。特に金型がなかなかうまく行かないとい
うことがありました。

私もその後、昭和48(1973)年10月、独立させてい
ただきまして、たまたま私がバルブ屋さんやポンプ
屋さんと繋がりがあったものですから、バルブのシャ
フト加工は昭和30(1955)年頃から未だに形状の
変わっていない部品加工を現在もさせていただいて
います。

それと同時に、燕、三条、分水とも、外注さんと自
分のポンプも、その他雑多なものもやっております。

サラリーマン生活24年から25年、独立して23年位
経ちますが、現在も文句の言いようのない、楽しい
人生を送らせてもらっています。

私のからだには丁度10年前に食道ガン、腸閉塞、
骨のポリープと種々ありましたが、まったく健康です。

健康で長生きが一番と、年間100万歩と年間100回
ゴルフを目標にやっております。

一生懸命仕事をし、遊び、ここにきてアシスタ
ントガバナーを仰せつかり、皆さんの力で何とか消化
させるのではないかと自負しております。

今週はI・Mもごさいます。

9月24日(水)の公式訪問もよろしくご協力お願
いします。

次週例会 9月17日 外部卓話 県立新潟県央工業高校
校長 坂井 章様

次々週例会 9月24日 ガバナー公式訪問
例会……三条信金本店 PM12:30~
親睦会…松木屋 PM6:30~

